



2023年5月15日

各位

会社名 株式会社エアーフローゼット
代表者名 代表取締役社長兼CEO 天沼 聡
(コード番号: 9557 東証グロース市場)
問合せ先 執行役員 アセット戦略室長 森本 奈央人
(TEL 03-6452-8654)

2023年6月期通期業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向等を踏まえ、2022年8月12日に公表いたしました2023年6月期(2022年7月1日~2023年6月30日)の通期業績予想を修正することといたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 通期業績予想の修正

2023年6月期通期業績予想数値の修正(2022年7月1日~2023年6月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A) (2022年8月12日発表)	百万円 4,277	百万円 110	百万円 53	百万円 △114	円 銭 △13.97
今回修正予想(B)	3,732	△218	△262	△374	△46.20
増減額(B-A)	△545	△328	△316	△260	△32.24
増減率(%)	△12.7%	-	-	-	-
(ご参考) 前期実績 (2022年6月期)	3,390	△51	△67	△378	△65.96

2. 業績予想修正の理由

当社は2023年6月期期初において政府による行動制限の方針緩和などからコロナウイルス感染症の市況への影響が一定程度低減することを想定の上、業績予想を作成いたしました。また airCloset 事業の無料会員数を月額会員数の先行指標として捉え、月額会員数の増加を当該業績予想に組み込みました。以上を前提として、2022年6月期における成長率以上の成長を見込み売上高、各種利益(営業利益、経常利益及び当期純利益)の計画を策定しました。2023年6月期 第3四半期末時点において、会員数は純増し、事業自体の継続的な成長は果たしているものの、期初に立てた業績予想数値を達成するのが困難であることが予測できるようになりましたため、業績の下方修正を行うことを決定いたしました。以下に、業績未達の要因となった事象について、売上に係る要因と各種利益に係る要因を記載いたします。

(売上)

2023年6月期通期業績につきましては、新規会員獲得が期初における見込みを下回り、会員数が計画比で未達となったことにより、売上が想定を下回ることが見込まれるため、下方修正いたしました。

新規会員獲得が想定を下回ることとなった主な要因は以下の3点となります。

1点目は、前述のとおり、修正前の2023年6月期における新規会員獲得数についても、コロナウイルス感染症による市況への影響が一定程度低減することを想定して作成いたしました。市況については回復傾向にあるものの、当初想定ほどには回復しておらず、新規会員獲得が想定を下回っております。

2点目は、需要期である春先において、会員登録を完了せず離脱するお客様が見込みより増えたことにより、コンバージョンレートが低下したことが挙げられます。これは、LTV(顧客生涯価値)向上を図るために会員様への魅力訴求と会員様のお洋服の好みに関する情報収集の強化を目的として会員登録導線を伸長した結果、かえって会員登録に要する時間が増加し、登録途中で離脱につながったものと考えております。

3点目は、上記と同様に需要期である春先において、マーケティング施策に関連する一時的なシステムエラー(サーバートラブル・バグ)が発生し、計画していた広告活動に影響が生じたことによるものとなります。

今般の業績予想修正においては、期末会員数の修正前計画数値 39,525 人に対し、修正後計画数値は 33,000 人を想定しております。

(営業利益、経常利益及び当期純利益)

営業利益、経常利益及び当期純利益においてそれぞれ、売上高が当初計画を下回することを主要因に、下方修正いたしました。各種利益に与える影響につきましては、会員数と月額会員一人当たり限界利益が大きな要因となりますが、月額会員一人当たり限界利益は修正前計画数値 66 千円に対し、修正後計画数値は 63 千円を想定しております。当該数値が当初想定より減少している主な要因としては、お洋服の品質改善のために、過去の仕入分も含めて、お洋服の品質を向上させるために修繕等のメンテナンスを実施した際の費用負担が増加した点が挙げられます。

また、その他の要因としては、新規事業のためにシステム開発投資を実施することの影響及び円安により海外との取引を行っているサーバー代や業務委託に関する費用の高まりによる販売費及び一般管理費の増加が挙げられます。これらの事業環境と当社の収益状況等を勘案し、2023年6月期通期業績予想を上記のとおり修正いたします。

3. 今後の方針

情報・モノが爆発的に増加し、時間の価値が相対的に高まっていく現代社会において、当社は airCloset 事業が実現する時間活用最適化の本質的な価値は変わっていないと考えており、今後上記の未達要因に対する具体的な対応策を実行していくことにより、事業成長を図っていくことができると考えております。詳細については、本日開示しております「2023年6月期 第3四半期 決算説明資料」も併せてご参照ください。

※上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確実な要素を含んでおります。実際の実績等は、業績の変化等により、上記予想数値と異なる場合があります。

以上